

コンテナ船の船長・大森さんの話



日本の工業や人々の生活に必要なものが入ったたくさんのコンテナを、世界中の国々から何日もかけて運んでいます。大切なものを運んでいるので、台風の時などは事故が起きないように、安全に気を付けて航海しています。予定通りに届けられるように、コンテナ船にいる20人ほどの乗組員が力を合わせながら仕事をしています。世界の国々と日本とを結ぶこの船の仕事は、とてもやりがいがあります。

ガントリークレーンを操作する和田さんの話



1日に1400個以上のコンテナが船で運ばれてくるので、何台ものガントリークレーンでつり上げ、コンテナ置き場にならべています。1台のガントリークレーンで1時間に35個ほどのコンテナの積み下ろしをします。操縦席が高いところにあるので、船の底の方など見えにくいところにいる仲間と連絡を取り合いながら、安全に注意して仕事をしています。風が強い時には、コンテナがゆれたりするので、特に気を使います。

日本の貿易を支える上でとても大切な役割を果たしているこの仕事をやりとげた時には、達成感があります。